

製品名: CD197 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81972**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	42.9kDa

抗原情報

遺伝子名	CD197
別名	BLR2; EBI1; CCR-7; CCR7; CDw197; CMKBR7; CC-CKR-7
遺伝子 ID	1236.0
SwissProt ID	P32248
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD197 (AA: 追加ミックス) の精製された組み換え断片。

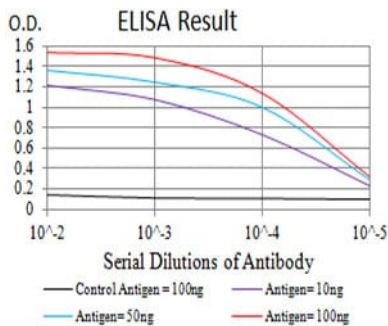
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、G タンパク質共役受容体ファミリーのメンバーです。この受容体は、エプスタイン・バーウイルス (EBV) によって誘導される遺伝子として同定され、B リンパ球に対する EBV の影響のメディエーターであると考え

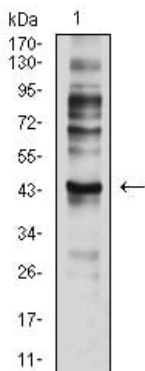
えられています。この受容体は様々なリンパ組織で発現し、Bリンパ球およびTリンパ球を活性化します。炎症組織へのメモリーT細胞の遊走を制御し、樹状細胞の成熟を刺激することが示されている。ケモカイン (C-Cモチーフ) リガンド 19 (CCL19/ECL) は、この受容体の特異的リガンドであることが報告されています。この受容体によって媒介されるシグナルは、リンパ節における T細胞の恒常性を制御し、T細胞の活性化と分極、および慢性炎症の病因にも機能している可能性があります。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。

研究分野

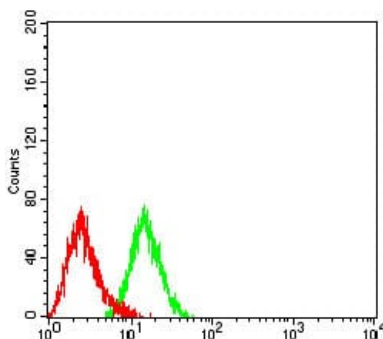
画像データ



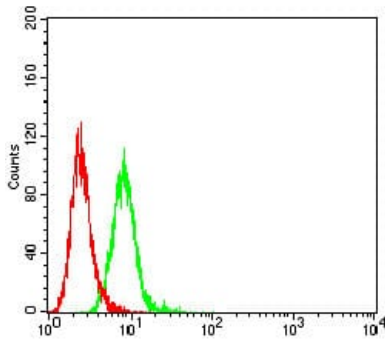
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



C6 (1) 細胞溶解物に対する CD197 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



CD197 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。



CD197 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。